

AI活用 人材育成へ

新潟産大 新規プログラム導入

新潟産大（梅比良眞史学長）は本年度、情報化社会に対応できる人材の育成を目的に、関西学院大と日本IBMが共同開発した「AI活用人材プログラム」を

導入した。オンライン授業が始まっている。

プログラムの内閣府・文部科学省・経済産業省によ

る「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けている。文系理系に関係なく、学び初めの人にも、AI活用人材に必要な四つの必須スキ

ルが総合的、体系的に習得可能な実践的な教材だ。メーカや金融など約100社が導入している。

1コマ100分程度のオンライン授業で、学生は空き時間などに動画を視聴で

き、分らないことがあれば24時間サポートのTA（ティーチング・アシスタント）チャットボットが対応する。修了後には単位認定とともにプログラム修了証、オープンバッジ（デジタル認証）が得られる。

新潟産大では学部生34人、院生2人、通信課程28人の計64人が受講。うち経済経営学科3年・浦沢理音さんは「これからの社会にはAIの知識が欠かせない。スキルアップのため

独学でITパスポートを勉強し始めたところ、AI活用人材プログラムがあると知り、すぐに申し込んだ」とパソコンと向き合った。当初想定20人を超える人

気ぶりに、阿部雅明教授は「地方再生にもAI活用が必要になる時代。学生たちもそのことを意識していると思う。地域を活性化する人材になってもらいたい」と話した。



空き時間に新導入した「AI活用人材プログラム」を受講する学生。「就活に生かしたいと資格取得を目指す」新潟産大ロビ

2022年6月10日（金）

柏崎日報（日刊・夕刊）掲載

柏崎日报社 転載許可済